

社会福祉法人栄光会

児童養護施設 若草園

〒787-0155 高知県四万十市下田 2211

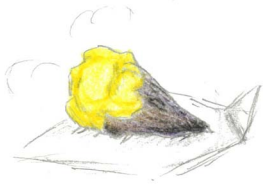
Tel (0880) 33-0247 Fax (0880) 33-0518

IPフオン 050-3344-8850

ホームページ⇒ <http://wakakusaen.holy.jp/>

発行：福留久美、編集：瀬戸雅弘

わかくさ



スポーツの秋

日が短くなってあっと言う間に暗くなるこの頃、オレンジに染まる空、オレンジのボールを追いかけて遊ぶ、オレンジの服の少年たちの姿。(空の色合いは目に映ったように強調しています)



巻頭言



カエデは紅、イチョウは黄金、華やかな錦の秋となりました。

早いもので、今年もあと2ヵ月を切りました。本年は児童福祉法、社会福祉法が相次いで改定され、現場では対応に追われて秋をゆったりと過ごす余裕がないのが残念です。法制度が変わることで、子どもたちの取り巻く状況が改善されることを願ってやみません。

さて、園の子どもたちは、心と体が解放される夏休みにホームキャンプ、東京でのEnglishキャンプ、カブスカウト活動、川遊び、海水浴等を体験し、更に、一條太鼓演奏、部活動、水泳大会等にて自分の力を十分発揮し、個々が大きく成長を遂げています。また、運動会、音楽祭、文化祭等、行事の任された役割を果たす経験から「自信」という心身の発達に繋がり、それが目に見えて感じられるのがこの時期でもあります。

近年、ちまたに流行っているハロウィン(Halloween)。若草園でも、流行に敏感な子ども達は興味津々のようです。ハロウィンの起源はもともと古代ケルト人のお祭りで、秋の収穫を祝い、悪霊などを追い出す宗教的な意味合いがあったようです。当時10月31日が大晦日のような日で、亡くなった人の魂が帰ってくるとされていました。日本のお盆にも似てますね。それと一緒に悪魔や魔物もやって来るので、そこから子どもを守るために、より怖いオバケに仮装していたそうです。それが今の仮装の起源になります。

日本にも古くから、子どもの誕生や成長、収穫を願い、祝う風習が沢山あります。私たちは、子ども達が様々な経験を積み重ねることで、日本文化も大切にし次世代へと繋いでくれる事を願い、養育のなかで情操面の発達を支援していきたいと思ひます。

筆末ながら、朝夕の冷え込み厳しくなる折、皆様のご健康をお祈り致します。



施設長 福留久美

育児相談窓口

児童家庭支援センター
わかくさ

でんわ (0880)

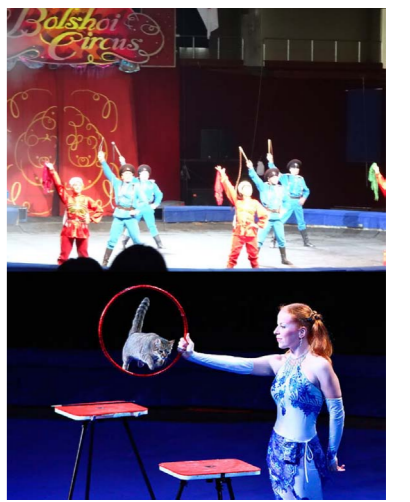
33-0258

24時間

365日無料



8.18 ポリショイサーカス招待
高知新聞企業創立 50 周年記念事業
でご招待を受けてロシア国立サーカ
スの高知公演を見ました。猫の曲芸
があるのは珍しいですね。



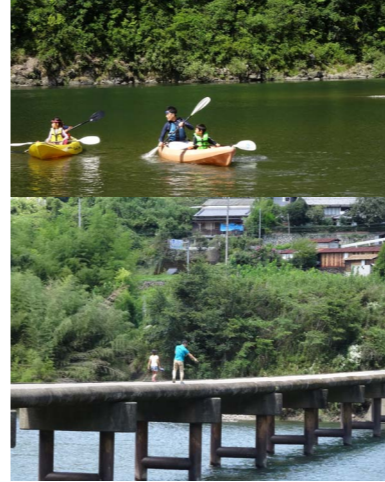
◀ライオンズクラブポスターコンテスト
国際平和ポスターで若草園の子どもの作
品が優秀賞に輝き、アピアさつきに展示
されました。全国で1番になればニュー
ヨークの表彰式に行けるそうです。選ば
れたらいいですね。



8.21 伊豆杯
旧職員の伊豆さんが園内で普及さ
せてくださった百人一首競技カル
タ大会をこの夏も開催しました。



8.30 カブスカウト活動
ボーイスカウトのジュニア世代
が四万十川でカヌー体験など野外
活動を行いました。四万十川ウル
トラマラソンの名物コースでもあ
る沈下橋も渡りました。若草園で
は園の子ども達でボーイスカウト
中村第1団を結成しています。



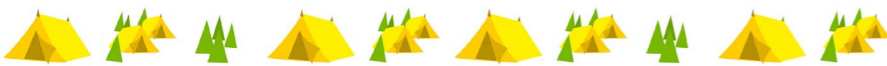
8.27 汽車から花火
土佐くろしお鉄道からご招待を受け
て第12回しまんと納涼花火大会に
運行された花火観賞列車に乗車して
絶景ポイントから花火を楽しむこと
ができました。(写真提供 田村昌之様)



夏のキャンプ ホーム活動報告



夏休み、子ども達の
一大イベントの一つに
ホーム単位でのキャン
プがあります。「泳ぎた
い」「スイカ割りがし
たい」「花火が…」等々
子どもから意見を聞き
ながら、今年はいず原
でキャンプを行う事にしました。ここ
は山の中にある川で、飛び込み出来る
大きな岩もあり子ども達には人気のス
ポットです。Aホームは中高生が少な
い為、皆浅瀬で魚をさがしたり、低い
岩からジャンプしたり、と各々川遊び
を楽しんでいました。



そんな中、キャンプ初参加のK君が
「僕、高い所から飛び込んでみようか
な」と一言。約5mの高台からのジャン
プはとても勇気のいる事で、普段見
られないK君の
積極的な発言に
職員皆おどろき、
「やってみたや」と
「ガンバレ」と
応援しました。
職員と岩を登り、
飛び込む位置や



台風などで予定が変わったホームも
ありましたが、5つのホームがそれ
ぞれキャンプをしました。

(Aホーム Bホームキャンプの様子)



飛び込んだ後の事等を入念に確認。あとはK君
が飛び込むだけですが、下から見る風景と上
からの風景は全く異なり、なかなかジャンプ出
来ません。「せーの」「せーの」と自分で何度も
タイミングを計るK君。5分10分と時間が過ぎ
ますが、どうしてもあと一歩の所で腰が引けて
しまいます。そんな時、地元の高校生男子達が、
「少年！一緒に飛んじゃるか？」と声をかけて
くれました。K君にとってこれほど心強い言葉
は無かったと思います。おかげでその後無事、
高校生と手をつなぎ飛び込み、2度、3度と繰
り返し飛び込みを行うK君の姿がありました。
この高校生の何気ない行動が、普段大人がと
るべき行動なのだと思えて感じました。

(Aホームリーダー 横山智也)

児童養護施設、自立援助ホーム、
ファミリーホーム、里親家庭を退
所し、自立生活をしている方で困
っている事はありますか？ お気
軽に相談してください。

Tel (090)5912-1785

専門相談員 岡崎光子

9:00 ~ 17:00

(緊急の場合は24時間対応します)

<< 無料 >> (通話料はかかります)



虫取り少年の夏

若草園 事務 瀬戸雅弘



炎天下、庭に虫網を持つ少年の
姿があった。彼の道具は奇抜で、
普通の竿にさらに竹竿をガムテー
プでつなげて長く改造してあっ
た。私の感覚では虫網は時にはス
ピードが大切で、すばやく振り回せる竿の長さとい
うものがあるだろうが、彼は高い木に止まっている
セミをこれで捕まえられるのだという。

事務所の窓からその様子を見る限りにおいては、
つなぎ目が不安定で、はたして網の輪っかが虫めが
けて急襲する段階で、如意に働いてくれるのだろう
かと余計な心配をしていた。セミの命は7日といわ
れているが、そんなゆるい網にも掛かるセミがいて
くれて、彼の虫かごには時々セミが入居していた。

夏休みの間、来る日も来る日も、ゆらゆらしてい
る網を持つ少年の姿はあった。それは時には滑稽に
も思い、時にはそのひたむきさに何かを感じるよう
にも思い、鳴くセミの音の種類が変化して時の移ろ
いを感じさせてくれた。

いつも昼間に見かけていた彼を、やがて夕方ラン
ドセルを背にした姿でしか見かけることができなくな
った。ある日、下校してきた彼の手にはカブトムシの
オスがあった。通学路で偶然に見つけたのだという。
特製の網ではなく素手で捕まえ
た大物。しかし、私にはあのゆ
らゆらする網で、少年がついに
捉えた結果のように見えた。

妹と捕獲を喜ぶ少年



児童が夏休みに書いた

作文コーナー



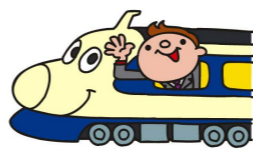
お父さんたちに会いに行った

具同小3年 W・S

ぼくは、8月14日から1週間とく島の鳴
門市にあるお父さんの家におばあちゃん
とつきゆうで行きました。鳴門えきにつく
とお父さんたちがむかえに来てくれてお父
さんの家までお父さんの車で行きました。
6年ぶりに会いました。始めはずかし
かったけどすぐなかよくなりました。1番
楽しかったのは、お兄ちゃんといっしょに
ふとんでひつついてねたことです。おふと
んの中でホームのことやようかいウオッチ
のことを話しました。

それから家の前の運動公園でお兄ちゃん
とお母さんと野球をしたのが楽しかった
です。1番うれしかったのは、お父さんに
スタミナ太ろうというレストランにつれて
行ってもらったことです。食べほうだい
だったのでぼくは、おすしとやき肉とカ
レーライスとケーキとアイスを食べておな
かがいっぱいになりました。とてもおいし
かったです。おばあちゃんもお父さんもお
母さんもお兄ちゃんもとてもやさ
しかったのでうれしかったです。

七夕のねがいがかないました。



具同ホームで13年間も活躍した公用車の三菱コルトが9月で廃車になりました。この車もかつて寄付されました。平成15年11月発行本誌3号の記事を下に引用します。

中村ロータリークラブより寄贈して頂きました。

中村ロータリークラブ創立40周年記念として子ども連の為に、自動車を寄贈して頂きました。ありがとうございました。



8.10 四万十シネマの会から寄付金授与

4月24日に四万十市立中央公民館で四万十シネマの会によって上映された中村高校出身の小説家・中脇初枝原作の映画『きみはいい子』の収益金が、同会から若草園に寄付されました。児童虐待がテーマの本作品は市民の関心も高く、2回の上映で約570人が鑑賞しました。



児童虐待がテーマの本作品は市民の関心も高く、2回の上映で約570人が鑑賞しました。

ご寄付一覧表

皆様に心から感謝申し上げます。

< 50音順・敬称略 >



*寄付金

大塚紀美
小椋茂昭
小島 LP ガス器具販売店
カラオケ友の会・清流
黒岩将 (2回)
高知神道青年会
小松建設 代表取締役 小松道明
佐竹敬
四国岩谷(株)中村(営)
四万十シネマの会
下田小学校職員一同
白木保険事務所
合資会社すみれ薬局
田中則明
藤原啓正
(株)プロジェクト・ホンダ
増田裕税理士事務所
宮地敏子
宮部水秋
三好琴喜
(株)四電工中村(営)
⇒ 21人 22口 ¥524,109

*寄付物品

(株)足摺農園
小椋茂昭
甲斐美鈴
ギャップジャパン(株)コーポレートコミュニケーションズ
黒岩 将 (2回)
高知県神道青年会
高知大学 如泉会幡多支部会
斎藤正七郎
島田歯科
幡多児童相談所 榎谷
パチンコホームラン (3回)
久松
久坂七夕
宮村和輝
メイヤの樹 望月和弘
⇒ 15人 18口 時価総額 ¥118,350

*ボランティア

高知保護観察所→機関誌発送作業
四万十わかば更生保護女性会→「四万十市教育委員会 ALT →英会話 (株)日本公文教育研究会→運営指導
矢野川研→児童学習指導



オレンジリボンは児童虐待防止の印

11月は児童虐待防止推進月間です。今年も高知県ではオレンジリボンキャンペーンを展開しています。「児童家庭支援センターわかくさ」では育児・子育てに関する相談などを日々受け付けると共に、様々な啓発活動にも取り組んでいます。

9月25日(日)宿毛新港緑地にて土佐の豊穰祭'16「はたフェスin宿毛」が開催され、親子で楽しめる手作りおもちゃのブースを出店しました。この催し物は毎年幡多地域持ち回りで、内外のグルメが集合して、お子様からご年配まで楽しめるステージに加え、各種体験教室や講演が行われる複合的なイベントです。同封のチラシをご覧ください、その他の催し物にもぜひご参加ください。

【平成28年度虐待防止標語】
さしのべて あなたのその手 いちはやく



編集後記

園長の巻頭言はどんな内容がやってくるかな? 今日原稿をいただくと思うのですが、園長は知恵熱に冒されたのか急ぎょ病欠だった。半年ごとになった寄付金紹介のページで、今回は特に、招待や寄付の話をもっと扱った。この部分でも挿絵で宮脇さんが一度活躍してくれたが、その後、アキラちゃんがんばってイラストを提供してくれるようになったので、その事はぜひとも押さえておきたいなと思ってる。▼オレンジリボンキャンペーンにひっかけて、オレンジ3つの表紙写真は実は去年の作品だけど、去年のこの季節の号は残念ながら他の内容との関係もあり室内キャンプのイルカとのふれあいの写真になってしまった。去年から絶対今年を使うぞとの決意だったが、実際に印刷してみると写真が暗いのでどうだろうかと思ってる。▼差し替えといえ、新年度号でも優斗の入園式姿を使いたかったが中央児相のヘマにより没となってしまった。個人情報管理はむずかしい。花火列車の写真とカブトムシの少年の写真は使用許可が得られてホッとしている。明日、園長の巻頭言で完成する。(せと